

開発途上国の庶民住宅の地震被害軽減に関する 国際ワークショップ開催のお知らせ

建築研究所、防災科学技術研究所、政策研究大学院大学、三重大学は、大規模地震のたびに開発途上国において膨大な死傷者を発生させている主な原因となっている庶民住宅についての被害を軽減するための方策（実践的な耐震工法とその普及方策）についてのこれまでの研究成果を共有し、これからの取り組みについて議論するための国際ワークショップを、別紙のとおり1月21日(水)、22日(木)に開催します。ワークショップでは、学識経験者によるプレゼンテーション、昨年12月にペルーにおいて実施した実大住宅の振動台実験の結果報告、ローコスト免震技術に関する実験、海外4ヶ国で実施した技術普及のためのパイロットプロジェクトの報告など、これまでアジア4ヶ国と共同で実施してきた研究の成果が報告されます。また、この講演会は、世界銀行のビデオ会議システムを利用して、日本（東京都千代田区・世界銀行東京開発ターニングセンター）の主会場とアジアの5ヶ国（日本、インドネシア、ネパール、パキスタン、トルコ）の副会場を結んで開催することにしています。多くの皆様の参加を期待しています。（申し込みは、添付の「参加登録表」でお願いします。）

なお、この講演会は、共催4機関が共同で、2006度より3カ年の計画で、文部科学省の科学技術振興調整費を得て実施している「地震防災に関するネットワーク型共同研究」の一環として実施されるものです。また、これまで開催した国際ワークショップの概要は建築研究所のホームページで見ることができます。

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/ws2008/index-j.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2008/index-j.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2007/index.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2006/index.htm>

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所

国際協力審議役

氏名 榑府 龍雄

電話 029-879-0689 (直通)

E-mail narafu@kenken.go.jp

地震防災のための東京国際ワークショップ2009

<住宅の被害軽減を目指して>

1. 背景、目的

中国四川省地震（2008年）、ペルー太平洋岸地震（2007年）、ジャワ島中部地震（2006年）、パキスタン北部地震（2005年）、スマトラ沖地震（2004年）などの悲惨な被害からも明らかなように、地震被害の軽減は地震地域共通の喫緊の課題である。このため、本ワークショップを主催する4研究機関は、インドネシア、ネパール、パキスタン、トルコの地震国4ヶ国の研究機関と共同して、2006年度より、下記の3テーマ、7活動計画（コンポーネント）を内容とする「地震防災に関するネットワーク型共同研究」に、文部科学省科学技術振興調整費を得て取り組んできた。

東京国際ワークショップ2009は、3テーマについてのこれまでの取り組みの成果の共有を目的として、5ヶ国の会場をビデオ会議システムにより繋ぎ、ウェブ・ストリーミングにより世界各地からアクセスを得ながら、広範な地域、分野の方々の参加を得て開催するものである。本年度は3カ年の活動の最終年度となることから、今後の展開についての意見交換も行う。

<研究開発テーマ及び活動計画（コンポーネント）一覧>

テーマ1 建物のリスク管理システム

- 1-1 コミュニティによる地震リスク認識のメカニズムを内蔵するリスク管理システム
- 1-2 地震リスクに関する資料、データの収集、整理

テーマ2 実践的な耐震工法の研究開発

- 2-1 実践的な耐震工法のための実験研究
- 2-2 工学と建設工事との間のブリッジ構築
- 2-3 簡易でローコストの免震技術開発

テーマ3 技術の社会への定着方策

- 3-1 技術のコミュニティへの普及方策
- 3-2 技術普及のためのガイドブック、パンフレットなどの収集、整理

2006、2007年度において、当該研究開発プロジェクトの一環としてビデオ会議システムを活用した国際ワークショップを開催した。その概要は、建築研究所ホームページの下記で公表されている。

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/ws2008/index-j.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2008/index-j.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2006/index.htm>

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/event/tokyo-2007/index.htm>

2. 主催

独立行政法人建築研究所

独立行政法人防災科学技術研究所

政策研究大学院大学

三重大学

3. 協力、連携機関

<協力>

世界銀行東京開発ラーニングセンター (TDL C)

国連地域開発センター (UNCRD)

国連国際防災戦略事務局 (UN/ISDR)

国連教育科学文化機関 (UNESCO)

<連携機関>

インドネシア：バンドン工科大学、ガジャマダ大学、公共事業省人間居住研究所

ネパール：ネパール工科大学、ネパール国立地震工学協会 (NSET)

パキスタン：プレストン大学、ペシャワール工科大学

トルコ：イスタンブール工科大学、中東工科大学、公共事業省地震研究部

4. 開催日時 (日本時間)

2009年1月21日 (水) 午後4時 - 8時20分(4時間20分)

1月22日 (木) 午後4時 - 9時 (5時間)

5. 会場・時間

下記の5ヶ国を世界銀行グローバル・ディスタンス・ラーニング・ネットワークのビデオ会議システムで繋いで実施する。

主会場：世界銀行東京開発ラーニングセンター (東京都千代田区内幸町、富国生命ビル)

<別添地図参照>

国内サブ会場：建築研究所 (つくば市)

海外サブ会場：インドネシア (ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ)

ネパール (カトマンズ)

パキスタン (イスラマバード、ペシャワール)

トルコ (イスタンブール、アンカラ)

6. ウェブ・ストリーミング・サービス

世界各地からのインターネット接続により、ワークショップの視聴が可能です。

希望される方は、下記10により申し込み登録してください。開催日の数日前に、メールにてアドレスを連絡させていただきます。

7. 議事次第（日本時間）

1月21日(水) 第1部 午後4時 - 午後6時25分

地震被害軽減のアプローチについての外部からのインプット

第2部 午後6時40分 - 午後8時20分

外部からのインプットと2008年度の活動概要紹介

時間	タイトル	発表者等
第1部	地震被害軽減のアプローチについての外部からのインプット	
16:00	ファシリテーター 各会場の接続確認、開会、WSの構成の説明	独立行政法人建築研究所 国際協力審議役 榎府 龍雄
16:05	ピスコ地震復興事業における耐震技術普及の取り組み	オリエンタルコンサルタンツ プロジェクト部長 小林 一郎
16:35	開発途上国の地震被害軽減のための技術的・制度的アプローチ	東京大学 教授 目黒 公郎
17:05	質疑応答、コメント	
17:20	人的被害軽減に活用可能性を有する技術について（早期地震警報及び緊急援助活動）	独立行政法人建築研究所 国際協力審議役 榎府 龍雄
17:30	日本の早期地震警報の概要	独立行政法人防災科学技術研究所 研究参事 堀内茂木
17:50	スタンドアローン型早期地震警報の概要	財団法人鉄道総合技術研究所 主任研究員 山本俊六
18:10	質疑応答、コメント	
18:25	休憩	
第2部	外部からのインプットと2008年度の活動概要紹介	
	ファシリテーター	独立行政法人建築研究所 上席研究員 横井 俊明
18:40	日本の緊急援助隊活動の概要	JICA 国際緊急援助隊事務局 企画役 小山達也
19:00	ネパールにおける緊急援助活動に関連する活動の紹介	ネパール地震工学協会 アモッド・ディキシット(ネパールより)
19:15	2008年度活動の紹介	独立行政法人建築研究所 国際協力審議役 榎府 龍雄
19:25	IAEEのノンエンジニアド構造物ガイドラインの改訂の提案	北海道大学 名誉教授 石山 祐二
19:35	CIBの新たなTGの設立	政策研究大学院大学 教授 岡崎 健二
19:45	質疑応答、コメント、今後の活動についての意見交換	
20:20	閉会	

1月22日(木) 第3部 午後4時 - 午後6時40分

テーマ2(実践的な耐震工法の研究開発)の活動紹介

第4部 午後6時55分 - 午後9時

テーマ1「リスク管理システム」及びテーマ3「技術の社会への定着」の活動紹介

時間	タイトル	発表者等
第3部	テーマ2「実践的な耐震工法」の活動紹介	
16:00	ファシリテーター 各会場の接続確認、開会、WSの構成の説明	政策研究大学院大学 教授 岡崎 健二
16:05	実大試験体振動台実験の概要	三重大学 教授 花里利一
16:25	4カ国(インドネシア、イラン、ペルー、日本)のセメントについての比較実験の概要	独立行政法人建築研究所 国際協力審議役 榎府 龍雄
16:35	インドネシア、ガジャマダ大学の取り組み	ガジャマダ大学 イマン・サトゥヤルト(インドネシアより)
16:55	コンファインドメーソンリーの工法改善の提案	独立行政法人建築研究所 専門研究員 今井 弘
17:10	コンファインドメーソンリー壁体の繰り返し加力実験の概要	バンドン工科大学 ディア・クスマストゥティ(インドネシアより)
17:20	質疑応答、コメント	
17:35	金属プレートによる滑り免震実験結果の概要	大阪大学 名誉教授 橋英三郎
17:45	ローコスト転がり免震実験結果の概要	北海道大学 名誉教授 石山 祐二
17:55	スクラップタイヤ活用による免震技術の実験結果の概要	中東工科大学 准教授 アフメット・トゥレール(トルコより)
18:05	石材の滑り免震技術の実験結果の概要	独立行政法人建築研究所 主任研究員 山口 修由
18:15	合成繊維シートによる滑り免震技術の実験結果の概要	東京ソイルリサーチ つくば研究室 室長 阿部 秋男
18:25	質疑応答、コメント	
18:40	休憩	
第4部	テーマ1「リスク管理システム」、テーマ3「技術の社会への定着」の活動紹介	
	ファシリテーター	三重大学 教授 花里利一
18:55	リスク管理システムの活動状況	独立行政法人建築研究所 上席研究員 横井 俊明
19:15	質疑応答、コメント	

19:35	技術の普及のためのパイロットプロジェクトの概要	政策研究大学院大学 教授 岡崎 健二
19:50	インドネシアのパイロットプロジェクトの概要	バンドン工科大学教授 クリシュナ・プリバディ
20:00	ネパールのパイロットプロジェクトの概要	NSET ネパール ラム・カンデル
20:10	パキスタンのパイロットプロジェクトの概要	プレストン大学 ナジブ・アーマド
20:20	トルコのパイロットプロジェクトの概要	イスタンブール工科大学 アルパー・イリキ
20:30	インドネシアにおける建築物耐震性向上のための 建築行政執行能力向上プロジェクトの概要	在インドネシア JICA 長期専門家 亀村 幸泰 (インドネシアより)
20:45	質疑応答、コメント	
21:00	閉会	

8. 言語

英語

9. その他

東京主会場では飲み物、スナックを用意します。

10. 参加の登録

参加を希望する方は、下記により、本案内に添付されている登録票をメール又はファックスにより建築研究所に**2009年1月18日(日)まで**送付し、参加登録をお願いします。

メールアドレス: tokyo-2009@kenken.go.jp

ファックス: 029-864-2989

<問い合わせ: 029-864-6641 (荒金又は今井)>

11. 添付資料

- ・参加登録票
- ・主会場地図 (東京開発ラーニング・センター、建築研究所)、インドネシア副会場地図 (JICA ジャカルタ事務所、バンドン工科大学)、ネパール副会場地図 (JICA ネパール事務所)、パキスタン副会場地図 (JICA パキスタン事務所、ペシャワール工科大学)、トルコ副会場地図 (JICA トルコ事務所)

参加登録票 Registration Form

地震防災のための東京国際ワークショップ2009

Tokyo International Workshop 2009 on Earthquake Disaster Mitigation for Safer Housing

1. 称号 Dr. Mr. Ms. Others ()
2. 苗字 (英語併記)
3. 名 (英語併記)
4. 所属機関 (英語併記)
5. 所属部署 (英語併記)
6. メールアドレス (確実に連絡できるもの)
7. 住所 (確実に連絡できるもの)
8. 電話、ファックス番号 (確実に連絡できるもの)
9. 都市名、郵便番号、国名
10. 参加希望 (参加のタイプ (会場又はウェブ・ストリーミング)、月日、会場名の不要な文字を削除してください)

○ 会場での参加

1月21日、22日

日本:	東京	つくば	
インドネシア:	ジャカルタ	バンドン	ジョクジャカルタ
ネパール:	カトマンズ		
パキスタン:	イスラマバード	ペシャワール	
トルコ:	イスタンブール	アンカラ	

○ ウェブ・ストリーミング・サービスによる参加

E-mail address: tokyo-2009@kenken.go.jp

Facsimile: 029-864-2989 問い合わせ(電話): 029-864-6641 (荒金、今井)

記入例

参加登録票 Registration Form

地震防災のための東京国際ワークショップ 2009

Tokyo International Workshop 2008 on Earthquake Disaster Mitigation for Safer Housing

1. 称号 Dr.
2. 苗字 (英語併記) 建研 (Kenken)
3. 名 (英語併記) 一郎 (Ichro)
4. 所属機関 (英語併記) 建築研究所
Building Research Institute (BRI)
5. 所属部署 (英語併記) 国際地震工学センター
International Institute for Seismology and Earthquake Engineering (IISEE)
6. メールアドレス (確実に連絡できるもの) tokyo-2009@kenken.go.jp
7. 住所 (確実に連絡できるもの) つくば市立原 1 番地
8. 電話、ファックス番号 (確実に連絡できるもの)
電話 029-864-6641 ファックス 029-864-2989
9. 都市名、郵便番号、国名 つくば市、〒305-0802、日本
10. 参加希望 (参加のタイプ (会場又はウェブ・ストリーミング)、会場名の不要な文字を削除してください)

会場参加

1月21日、~~22日~~

日本： 東京

E-mail address: tokyo-2009@kenken.go.jp

Facsimile: 029-864-2989 問い合わせ(電話): 029-864-6641 (荒金、今井)

地震防災のための東京国際ワークショップ2009
Tokyo International Workshop 2009 on
Earthquake Disaster Mitigation for Safer Housing

2009(平成 21)年 1 月 21,22 日

January 21, 22, 2009

開催場所 Venue:

世界銀行東京開発ラーニングセンターTokyo Development Learning Center (TDLC), The World Bank

住所 Address:

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 10 階

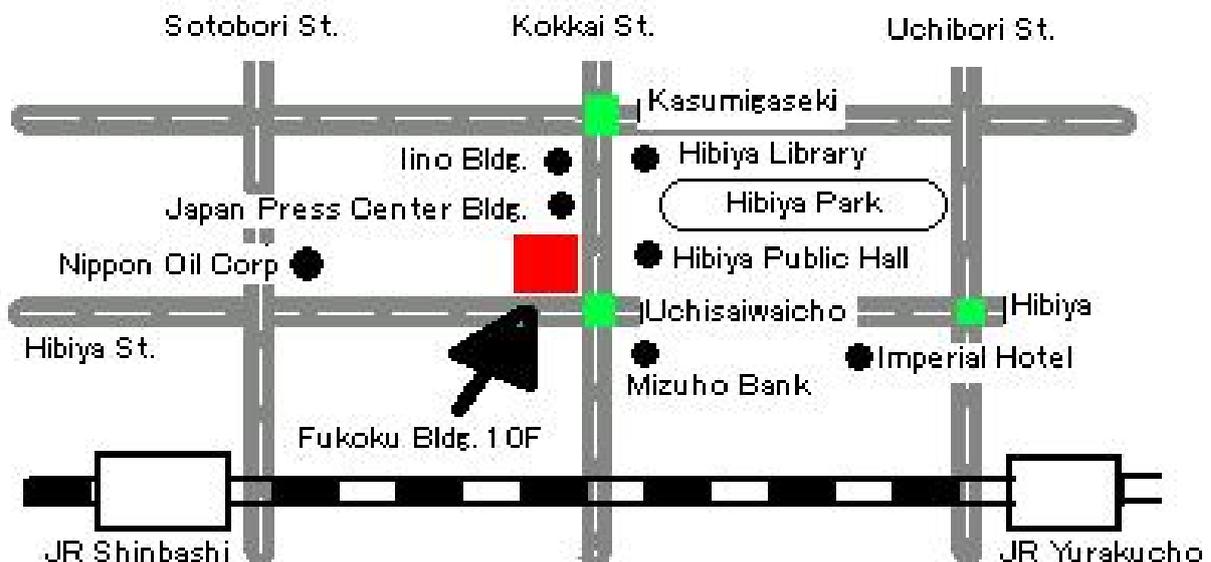
10F, Fukokuseimei Bld., 2-2-2 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011

電話 Tel: 03-3597-6650(代表)

FAX: 03-3597-6695

交通 Transportation

- ・JR 山手線、京浜東北線 新橋駅 日比谷口 (JR Yamanote Line, Keihin Tohoku Line Shimbashi Station, Hibiya Exit)
- ・地下鉄 都営三田線 内幸町駅 A6 直結 (Subway Toei Mita Line Uchisaiwaicho Station, Exit A6)
- ・地下鉄 千代田線 霞ヶ関駅 C4 出口 (Subway Chiyoda Line Kasumigaseki, Exit C4)
- ・地下鉄 日比谷線 霞ヶ関駅 C4 出口 (Subway Hibiya Line Kasumigaseki, Exit C4)
- ・地下鉄 丸の内線 霞ヶ関駅 B2 出口 (Subway Marunouchi Line, Kasumigaseki, Exit B2)

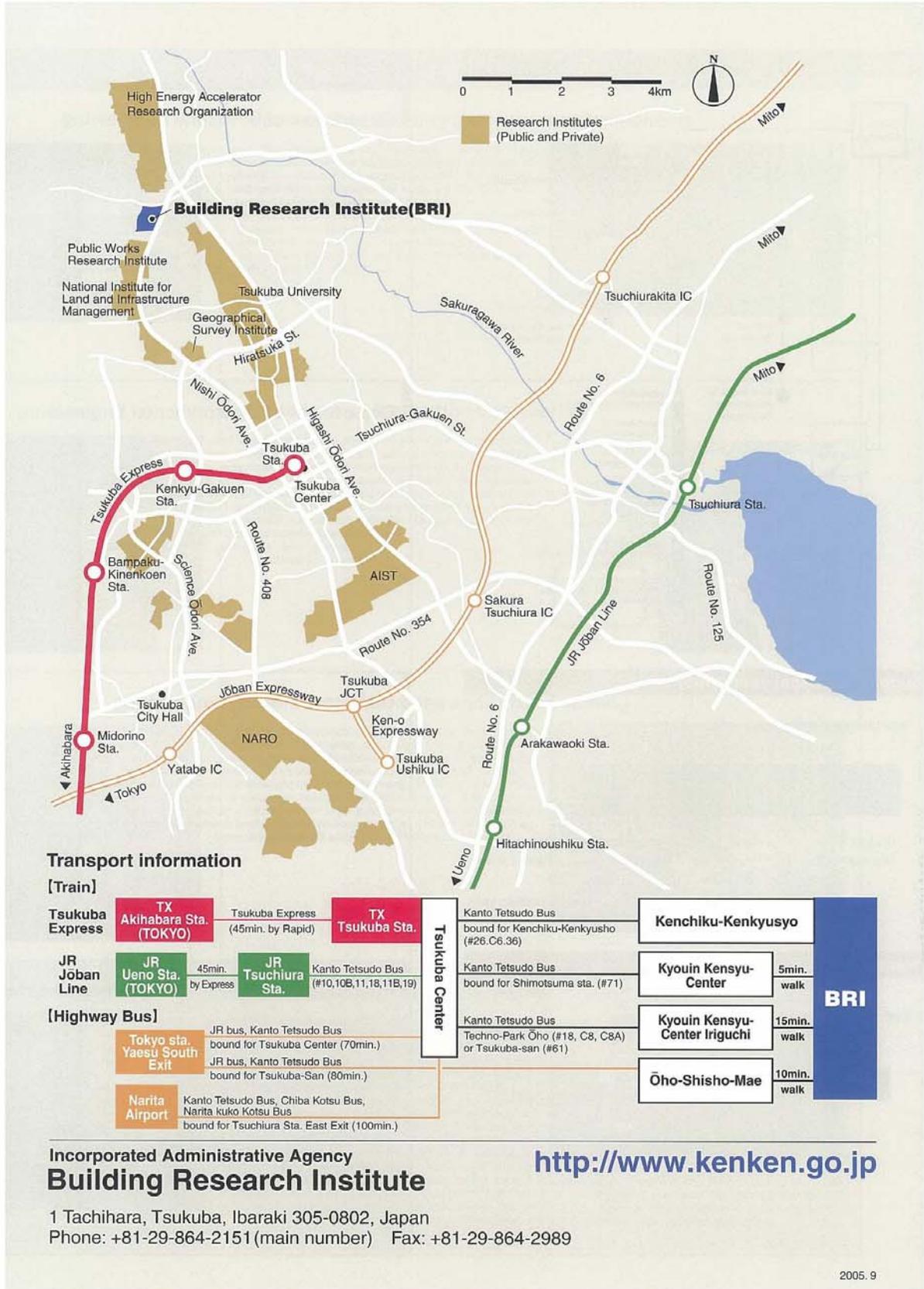


Building Research Institute (BRI)

1 Tachihara, Tsukuba city, Ibaraki, 305-0802

MapURL: <http://www.kenken.go.jp/english/information/information/transport/access.html>

Contact person: Taiki Saito (tsaito@kenken.go.jp) Tel: +81-29-864-6751



JICA INDONESIA OFFICE

SENTRAL SENAYAN II, 14th Floor, Jl. Asia Afrika No. 8
Gelora Bung Karno-Senayan, Central Jakarta 10270 INDONESIA
Phone: 62-21-57952112 / Fax: 62-21-57952116

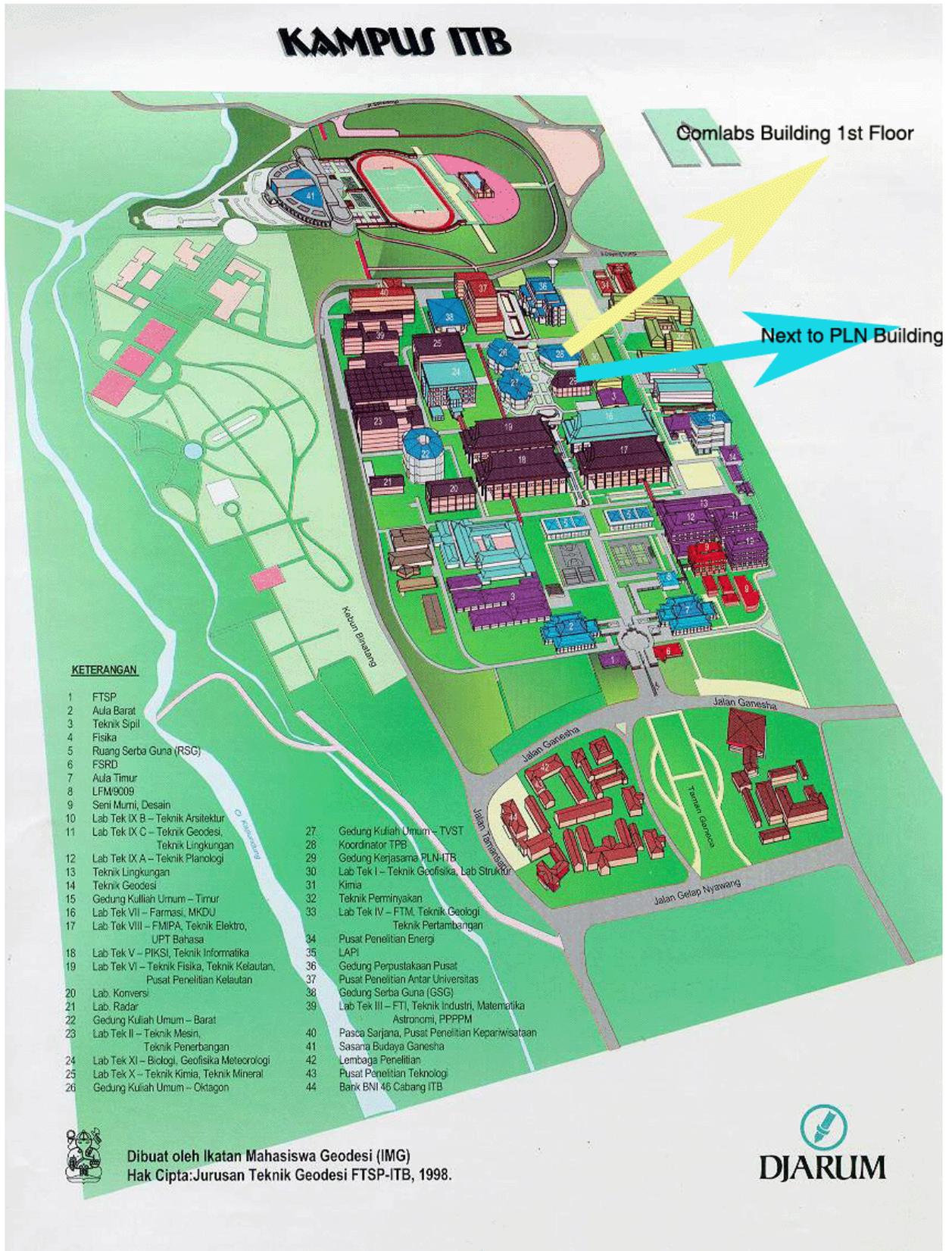


Location Map (Bandung Institute of Technology (ITB))

Jl. Tamansari 64 Bandung 40116, Indonesia

Computer Lab (Com Lab) Building

Tel: +62-22-2500-935

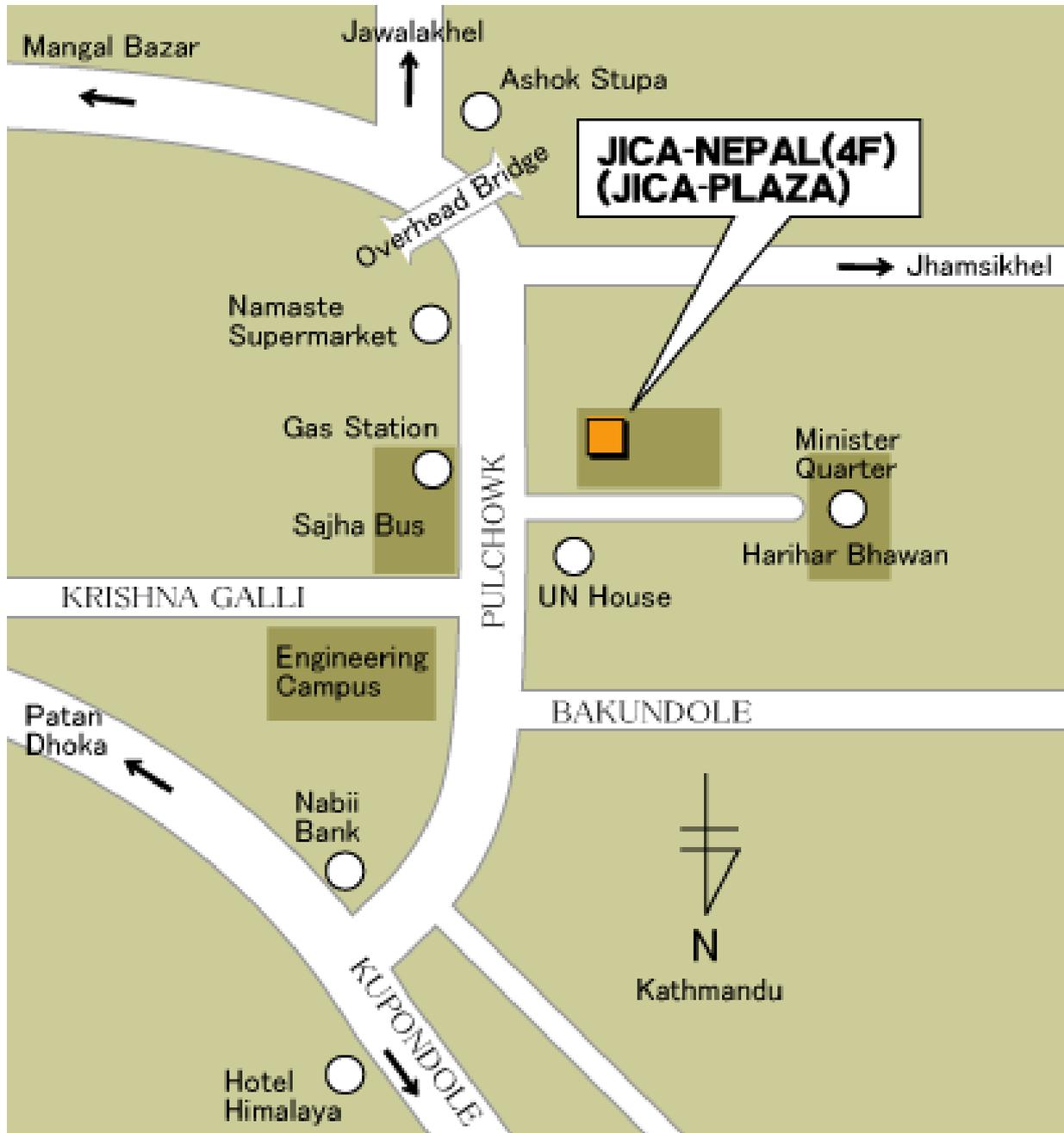


JICA NEPAL OFFICE

Block B, Karmachari Sanchaya Kosh Building, Hariharbhavan, Lalitpur, NEPAL

(P. O. Box 450, Kathmandu, NEPAL)

Phone: +977-1-5010310 / Fax: +977-1-5010284

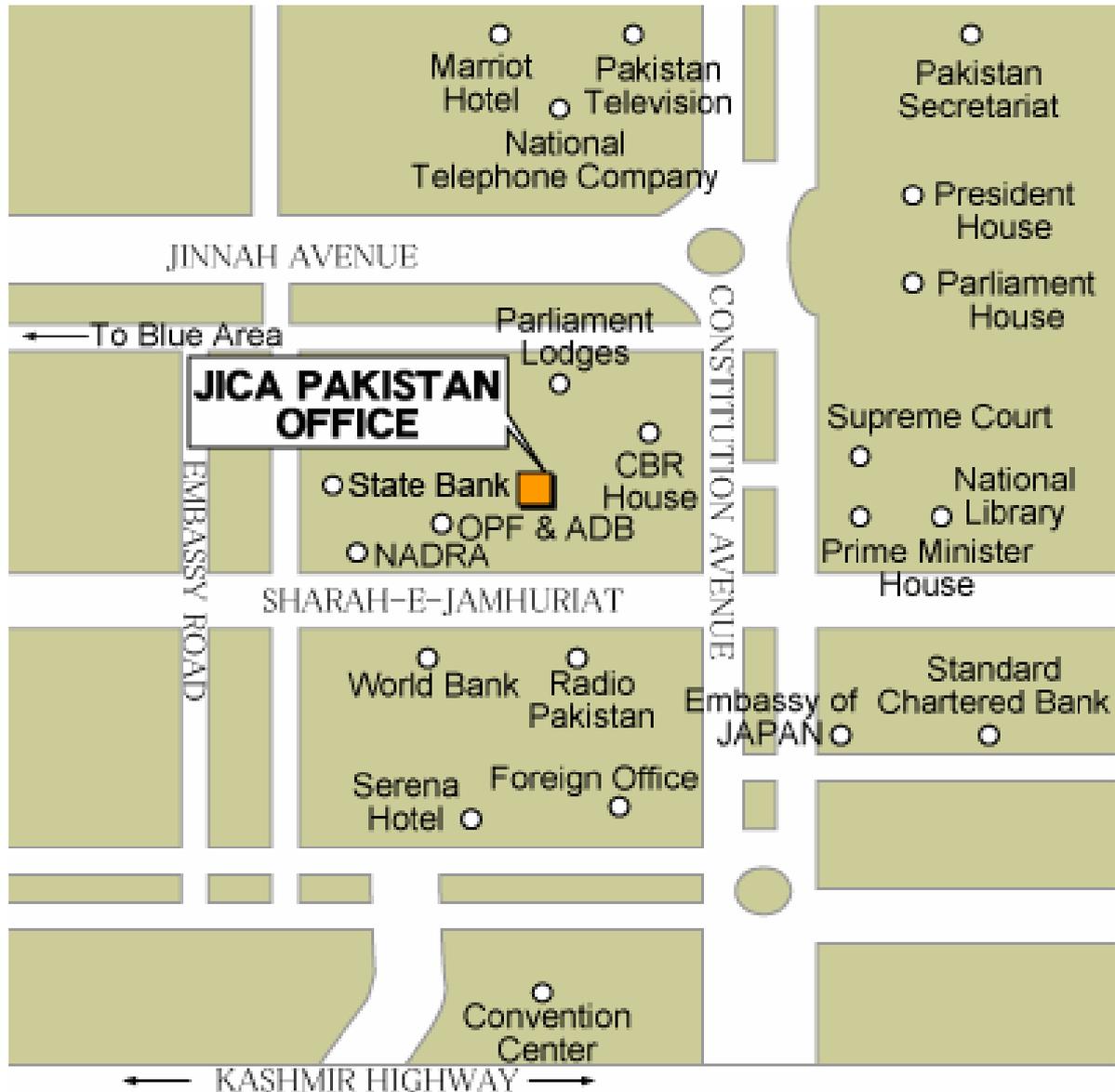


JICA Pakistan Office

Address: COMSATS Building, 3rd Floor, Shahrah-e-Jamhuriat,
G-5/2, Islamabad, Pakistan Tel: +92-51-2829473-8

Contact Person: Mr. Nobuhiro KAWATANI

(E-mail:Kawatani.Nobuhiro@jica.go.jp)



North West Frontier Province (NWFP) University of Engineering and Technology Peshwar

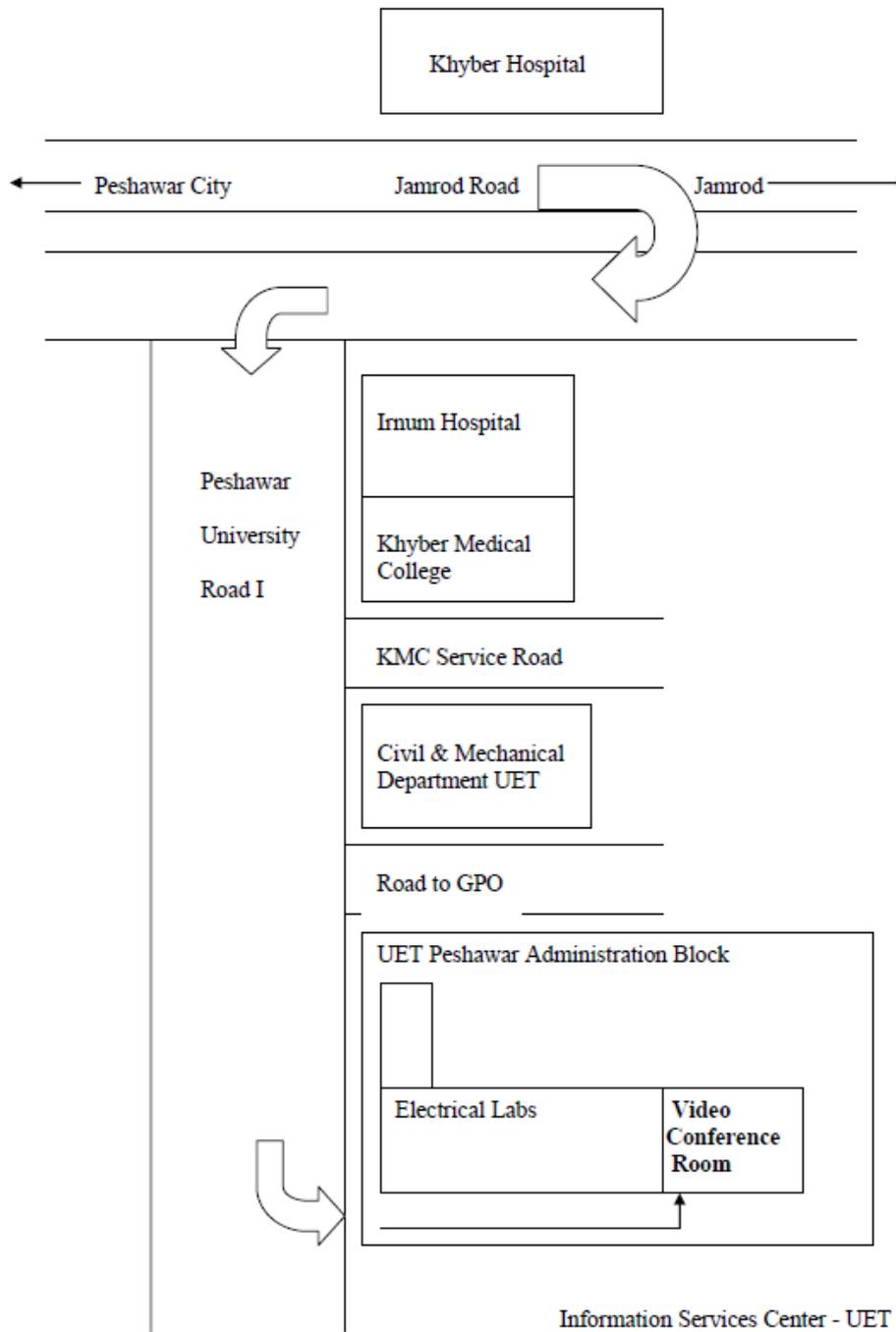
Peshawar University Campus Road No. 2 (P.O.Box 814), Peshawar, Pakistan

Tel: +92-521-842173

Contact Person: Dr. M. Inayatullah Babar (babar@nwfpuet.edu.pk)

Tel: +92- Ph ++92-3219076151/++92-3219122761

NWFP University of Engineering & Technology, Peshawar – Video Conferencing Room
Map



JICA Turkey Office



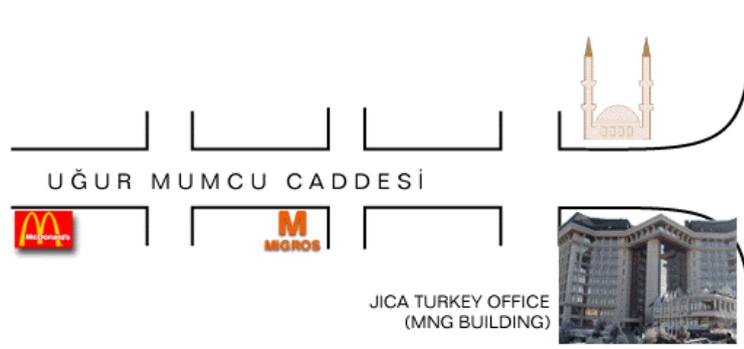
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY TURKEY OFFICE

[HOMEPAGE](#)

- WELCOME MESSAGE
- JICA IN GLOBAL DEVELOPMENT
- JICA ACTIVITIES IN TURKEY
- WHAT IS NEW
- ACCESS MAP
- COUNTRY PROFILE
- LINKS
- CONTACT US

Courses

ACCESS MAP



JICA Turkey Office

Ugur Mumcu Caddesi, 88/6 B Block Gaziosmanpasa 06700, Ankara, Turkey
Mailing Address: P.K. 117, Kavaklıdere 06692, Ankara, Turkey
Tel: +90-312-447 2530-31-32 Fax: +90-312-447 2534

©Copyright 2000-2001 JICA Turkey Office